

# 岡山県感染症週報

2012 年 第 9 週 (2 月 27 日～3 月 4 日)

**岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。**

## ◆2012 年 第 9 週 (2/27～3/4) の感染症発生動向 (届出数)

## ■全数把握感染症の発生状況

- 第 8 週 2 類感染症 結核 1 名 (80 代 男)  
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (60 代 男)  
 5 類感染症 ウイルス性肝炎 1 名 (20 代 男)

## ■定点把握感染症の発生状況

- インフルエンザは、県全体で 1,431 名 (定点あたり 17.04 人) の報告があり、第 4 週をピークに減少傾向ですが、依然として高いレベルにあります。  
 ○感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数でした。  
 ○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、減少しました。

## 【第 10 週 速報】

- インフルエンザとみられる臨時休業が、65 施設ありました (3 月 5 日～8 日まで)。  
 ▽岡山市 21 ▽倉敷市 21 ▽備前地域 8 ▽備中地域 4 ▽備北地域 0 ▽真庭地域 4 ▽美作地域 7  
 ○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、岡山市の幼稚園と小学校の各 1 施設でありました。(3 月 8 日)  
 ○集団かぜによる学年閉鎖が、岡山市の幼稚園でありました。今のところ、インフルエンザと診断された子どもは 0 人です。(3 月 8 日)

- インフルエンザは、県全体で 1,431 名 (定点あたり 17.04 人) の報告があり、前週 (定点あたり 20.79 人) より減少しました。患者数は 2 月から減少していますが、まだ流行が継続している可能性があることから、引き続き『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図っています。県内の発生状況・臨時休業情報などは『インフルエンザ情報』をご覧ください。  
 全国の第 8 週 (2/20～2/27) 定点あたり報告数は 29.04 人であり (前週 35.44 人)、第 6 週以降 3 週連続で減少しました。
- 感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 7.98 → 8.39 人)。詳しくは『感染性胃腸炎情報』をご覧ください。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、1 月から増加傾向でしたが今週は減少に転じました。流行の時期ですので、今後の動向に注意してください。
- 麻疹は、第 8 週から発生がありませんでした。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

## 【記号の説明】

前週からの推移： 2 倍以上の減少 1.1～2 倍未満の減少 1.1 未満の増減  
 1.1～2 倍未満の増加 2 倍以上の増加

流行状況：空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去 5 年間の標準偏差値を 5 等分し、流行状況の目安として 5 段階で表示しています。

## インフルエンザ情報 第 9 週 2012 年 2 月 27 日 ～ 3 月 4 日

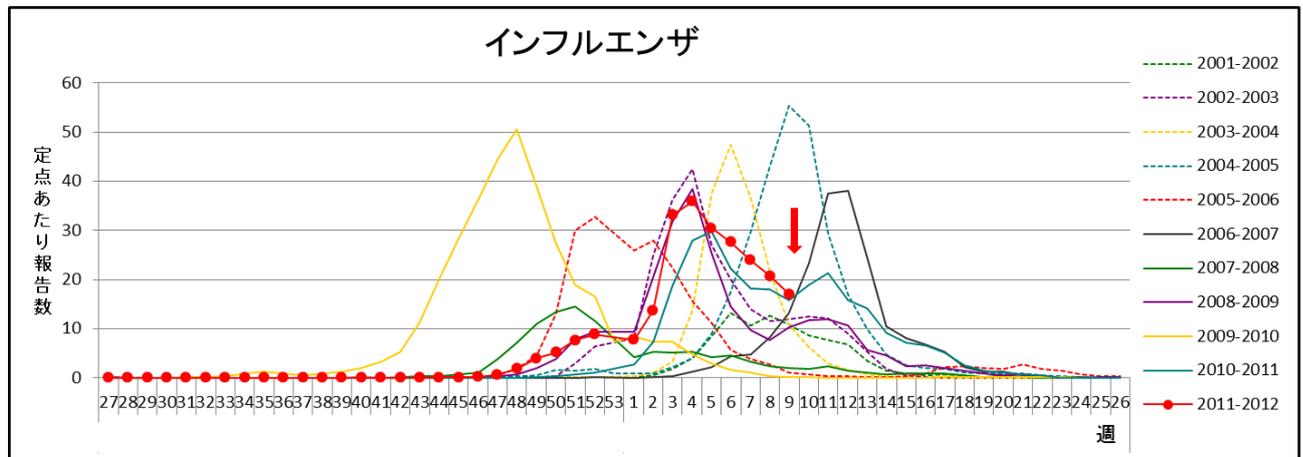
岡山県は、『インフルエンザ警報』を発令中です。

## ➤ 岡山県の流行状況

- 岡山県内の患者報告数は 1,431 名（ 定点あたり 17.04 人 ）となり、第 4 週をピークに減少傾向ですが、依然として高いレベルにあります。
- 県全体では感染症発生レベル 3 が継続しています。
- インフルエンザとみられる学校の臨時休業が、県内全域の 85 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者が、7 名ありました。

【速報】第 10 週 インフルエンザとみられる臨時休業が 65 施設でありました。（ 3 月 5 日～3 月 8 日まで）

▽岡山市 21 ▽倉敷市 21 ▽津山市 4 ▽玉野市 3 ▽真庭市 3 ▽瀬戸内市 2 ▽井原市 2 ▽奈義町 2  
▽赤磐市 1 ▽吉備中央町 1 ▽里庄町 1 ▽矢掛町 1 ▽和気町 1 ▽新庄村 1 ▽美作市 1



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザ患者数は 1,431 名（ 84 定点医療機関 定点あたり 17.04 人 ）であり、前週（ 1,746 名 定点あたり 20.79 人 ）より減少しました。第 4 週（ 35.88 人 ）をピークとして減少傾向ですが、依然として患者数が多い状態がつづいています。地域別では、倉敷市（ 28.06 人 ）、備前地域（ 21.60 人 ）、真庭地域（ 20.67 人 ）、岡山市（ 16.09 人 ）、備中地域（ 12.00 人 ）、備北地域（ 8.00 人 ）、美作地域（ 5.00 人 ）の報告があり、備前地域を除く県内全域で減少しました。感染症発生レベルは、県全体ではレベル 3、岡山市・倉敷市・備前地域・備中地域・真庭地域はレベル 3 が継続し、美作地域・備北地域はレベル 1 になりました。患者は減少しているものの、まだ流行が継続している可能性があることから、ひきつづき『インフルエンザ警報』を発令し、注意喚起を図っています。

患者数が一度減少した後、再び増加するというシーズンもあります。県内では A 型、B 型両方のインフルエンザウイルスが確認されており、型の異なるウイルスに再び感染することもあります。ひきつづき『手洗い・うがいを徹底する。』『咳エチケットを心がける。』など、感染予防に努めてください。また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

※咳エチケット：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさに咳やくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳やくしゃみが続くときはマスクの用意してください。

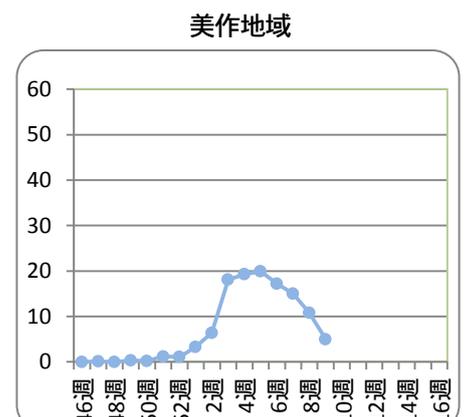
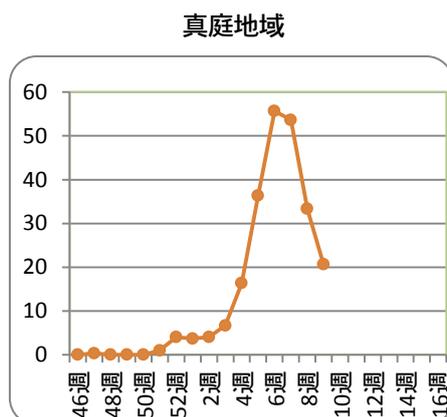
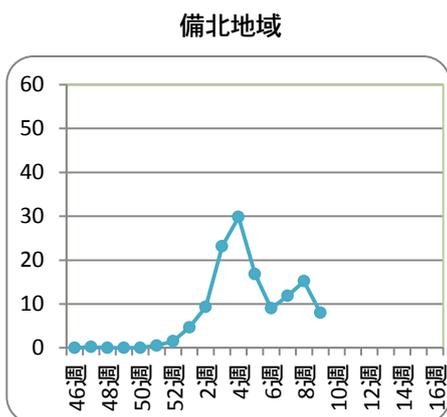
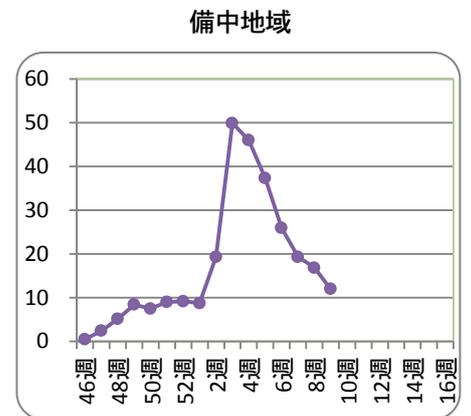
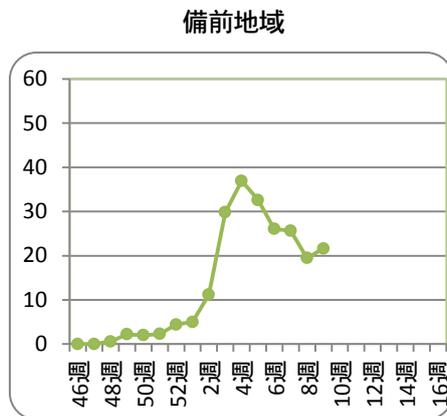
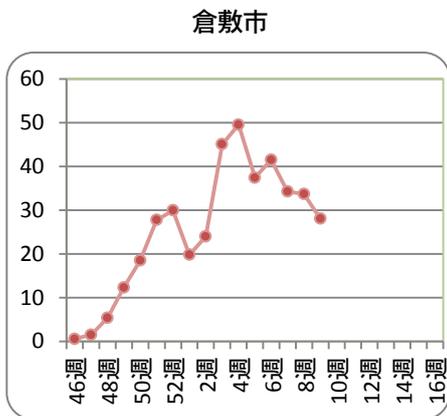
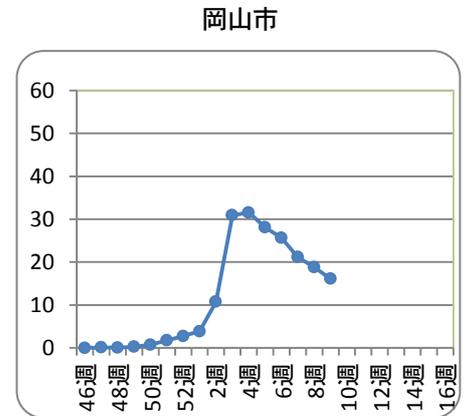
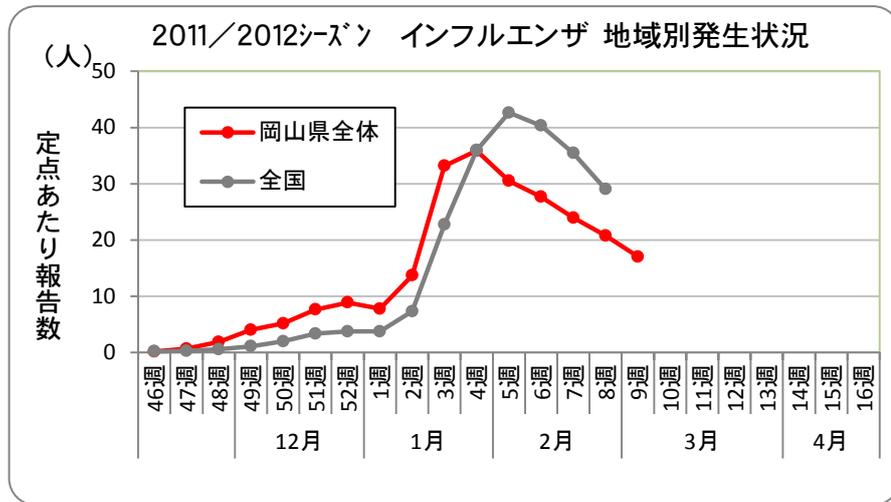
[○全国のインフルエンザ発生状況（国立感染症情報センター）](#)

# 1. 地域別発生状況

第9週 (2/27~3/4) 前週からの推移 (単位:人)

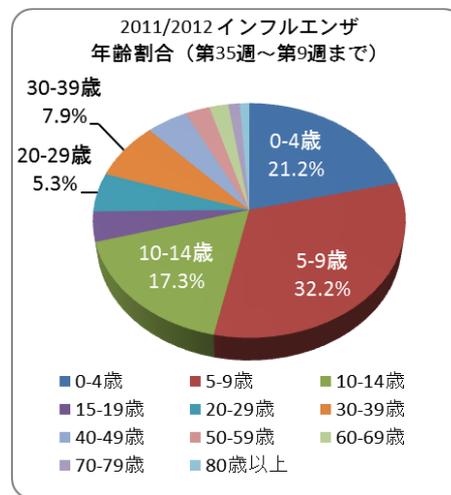
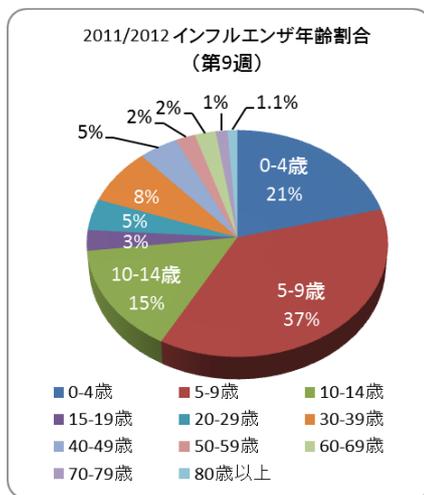
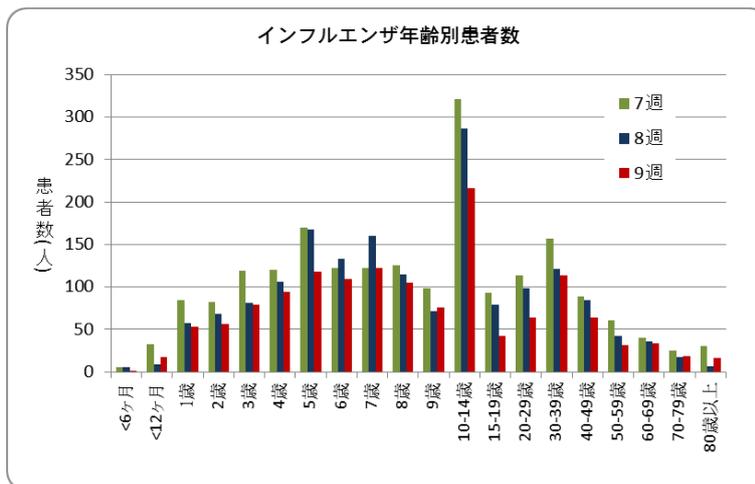
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,431	↓	備 中	患者数	144	↓
	定点あたり	17.04			定点あたり	12.00	
岡山市	患者数	354	↓	備 北	患者数	48	↓
	定点あたり	16.09			定点あたり	8.00	
倉敷市	患者数	449	↓	真 庭	患者数	62	↓
	定点あたり	28.06			定点あたり	20.67	
備 前	患者数	324	↑	美 作	患者数	50	↓
	定点あたり	21.60			定点あたり	5.00	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少    ↓ 1.1~2倍未満の減少    → 1.1未満の増減  
 ↑ 1.1~2倍未満の増加    ↑ 2倍以上の増加



## 2. 年齢別患者発生状況 第9週（2/27～3/4）

第9週、患者の年齢割合は5-9歳が全体の37%で最も多く、0-4歳が21%、10-14歳が15%の順であり、ひきつづき幼稚園児・小学生に該当する年齢層が多くを占めています。



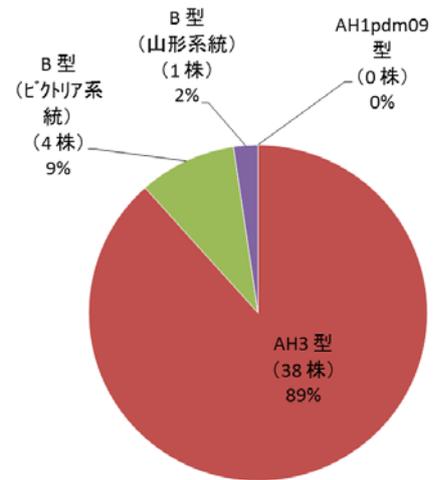
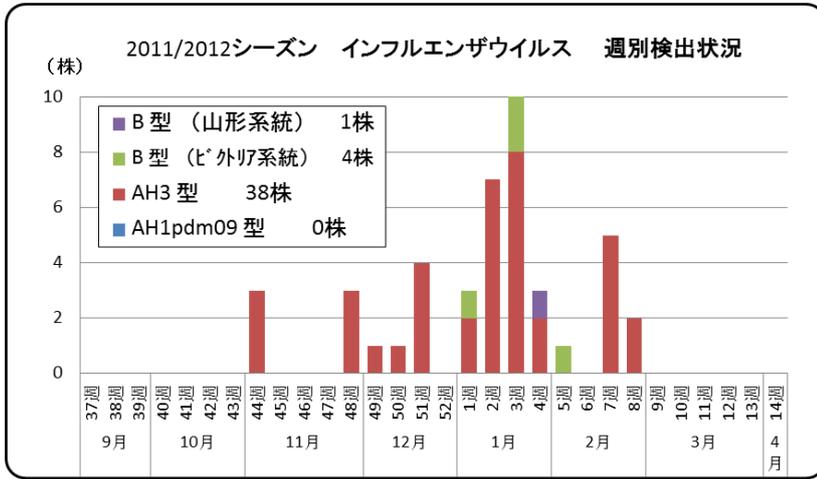
### ➤ インフルエンザウイルス検出状況 第9週（2/27～3/4）

第9週、2月に発生した散発事例からAH3型が7株、B型（ビクトリア系統）が1株検出されました。今シーズン県内では、AH3型が38株、B型（ビクトリア系統）が4株、B型（山形系統）が1株検出されています。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型の割合が最も多く84.9%、B型が14.9%、AH1 pdm09型が0.2%の順になっています。AH3型が主流ですが、1月以降B型の検出が増加しています。

([国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012シーズン](#))

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス B 型	第5週	2012年2月4日	笠岡市	小学生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルス AH3 型	第7週	2012年2月16日	倉敷市	幼児	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	第7週	2012年2月17日	倉敷市	小学生	男	
インフルエンザウイルス AH3 型	第7週	2012年2月17日	倉敷市	幼児	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	第7週	2012年2月19日	倉敷市	幼児	男	
インフルエンザウイルス AH3 型	第7週	2012年2月17日	倉敷市	幼児	男	
インフルエンザウイルス AH3 型	第8週	2012年2月22日	倉敷市	小学生	女	
インフルエンザウイルス AH3 型	第8週	2012年2月24日	倉敷市	小学生	男	



➤ インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第9週 (2/27~3/4)

学校等の臨時休業が県内全域の85施設でありました。

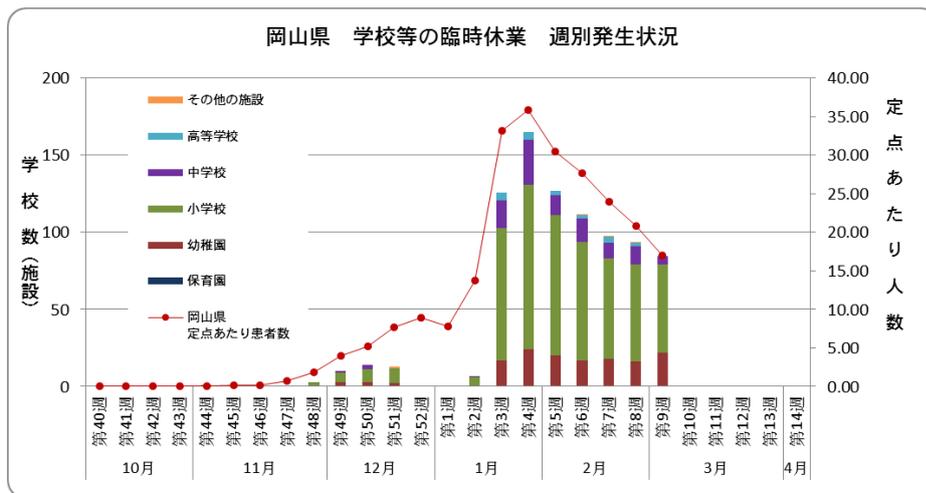
措置別：休園・休校 5施設、学年閉鎖 24施設、学級閉鎖 56施設

施設別：幼稚園 22施設、小学校 57施設、中学校 5施設、高等学校 1施設、その他 0施設

有症者数は1,137名、うち欠席者数864名でした。

第9週までの合計は、有症者数13,436名、うち欠席者数9,808名、施設数はのべ855施設になりました。

[岡山県 インフルエンザとみられる臨時休業 \(健康推進課ホームページ\)](#)



1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

【第9週】

(第10週発生の臨時休業数の掲載は、第10週週報で行います。)

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>1,137</b>	<b>13,436</b>	<b>864</b>	<b>9,808</b>	<b>85</b>	<b>855</b>	<b>5</b>	<b>37</b>	<b>24</b>	<b>242</b>	<b>56</b>	<b>576</b>	<b>H23. 10. 31</b>
岡山市	495	5,849	340	4,034	34	335	1	4	6	60	27	271	H23. 12. 15
倉敷市	309	3,147	240	2,373	20	188	0	6	3	33	17	149	H23. 10. 31
備前地域	182	1,678	161	1,368	17	126	1	5	9	57	7	64	H23. 12. 5
備中地域	70	1,330	57	1,110	6	108	1	9	3	41	2	58	H23. 11. 30
備北地域	11	313	11	227	2	29	1	3	0	12	1	14	H24. 1. 16
真庭地域	15	486	9	296	2	27	1	7	1	16	0	4	H24. 1. 13
美作地域	55	633	46	400	4	42	0	3	2	23	2	16	H24. 1. 16

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2. 臨時休業施設数の内訳 第9週 (2/27~3/4)

岡山市：幼稚園9、小学校25  
 倉敷市：幼稚園4、小学校15、高等学校1  
 備前地域：幼稚園3、小学校12、中学校2  
 備中地域：幼稚園3、小学校2、中学校1  
 備北地域：幼稚園1、小学校1  
 真庭地域：幼稚園2  
 美作地域：小学校2、中学校2

第9週：85施設 累計：855施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	22	142	57	580	5	107	1	22	—	4

【第10週 学校等の臨時休業 速報 (3/5~3/8まで)】

【措置別】

休校2施設：倉敷市1、里庄町1

学年閉鎖14施設：岡山市2、倉敷市1、玉野市1、瀬戸内市1、吉備中央町1、井原市2、矢掛町1、真庭市3、美作市1、新庄村1

学級閉鎖49施設：岡山市19、倉敷市19、玉野市2、瀬戸内市1、赤磐市1、和気町1、津山市4、奈義町2

【施設別】 ▽保育園0 ▽幼稚園7 ▽小学校58 ▽中学校0 ▽高等学校0 ▽その他0

【日付・地域別】

3月5日 ▽岡山市：9 ▽倉敷市：9 ▽備前地域：玉野市3、赤磐市1、瀬戸内市1、吉備中央町1  
 (32施設) ▽備中地域：井原市2、里庄町1 ▽真庭地域：真庭市1 ▽美作地域：津山市3、美作市1

3月6日 ▽岡山市：8 ▽倉敷市：4 ▽備中地域：矢掛町1 ▽真庭地域：真庭市2 ▽美作市：奈義町1  
 (16施設)

3月7日 ▽岡山市：4 ▽倉敷市：5  
 (9施設)

3月8日 ▽倉敷市：3 ▽備前地域：瀬戸内市1、和気町1 ▽真庭地域：新庄村1  
 (8施設) ▽美作地域：津山市1、奈義町1

➤ 入院時の状況と年齢別内訳 第9週 (2/27~3/4) ( 県内基幹定点 5 医療機関による報告 )

第9週、インフルエンザによる入院患者7名(幼児4名、80代以上3名)が報告されました。入院患者の多くは、70歳以上の高齢者(41%)と5歳以下の幼児(32%)です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。

乳幼児ではまれに脳症を起こすことがあります。水分をとったあとすぐに吐いてしまい元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときはすぐに医療機関に相談しましょう。

【第9週 入院患者数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	1	2									3	7
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)			1									1	2
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)			1										1
いずれにも該当せず	1	1	1									2	5

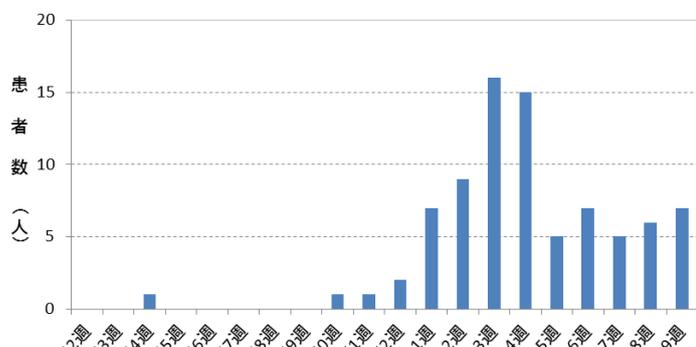
\*重複あり

【平成23年9月5日以降に入院した各患者の累計数】

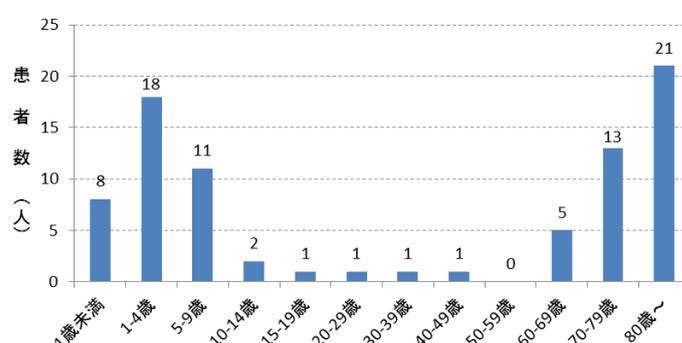
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	8	18	11	2	1	1	1	1		5	13	21	82
ICU入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部CT検査(予定含)		6	4	1	1						4	2	18
頭部MRI検査(予定含)		2									3	1	6
脳波検査(予定含)		5	1								3	1	10
いずれにも該当せず	8	10	7	1		1	1	1		4	7	19	59

重複あり

週別入院患者数の推移



入院患者数

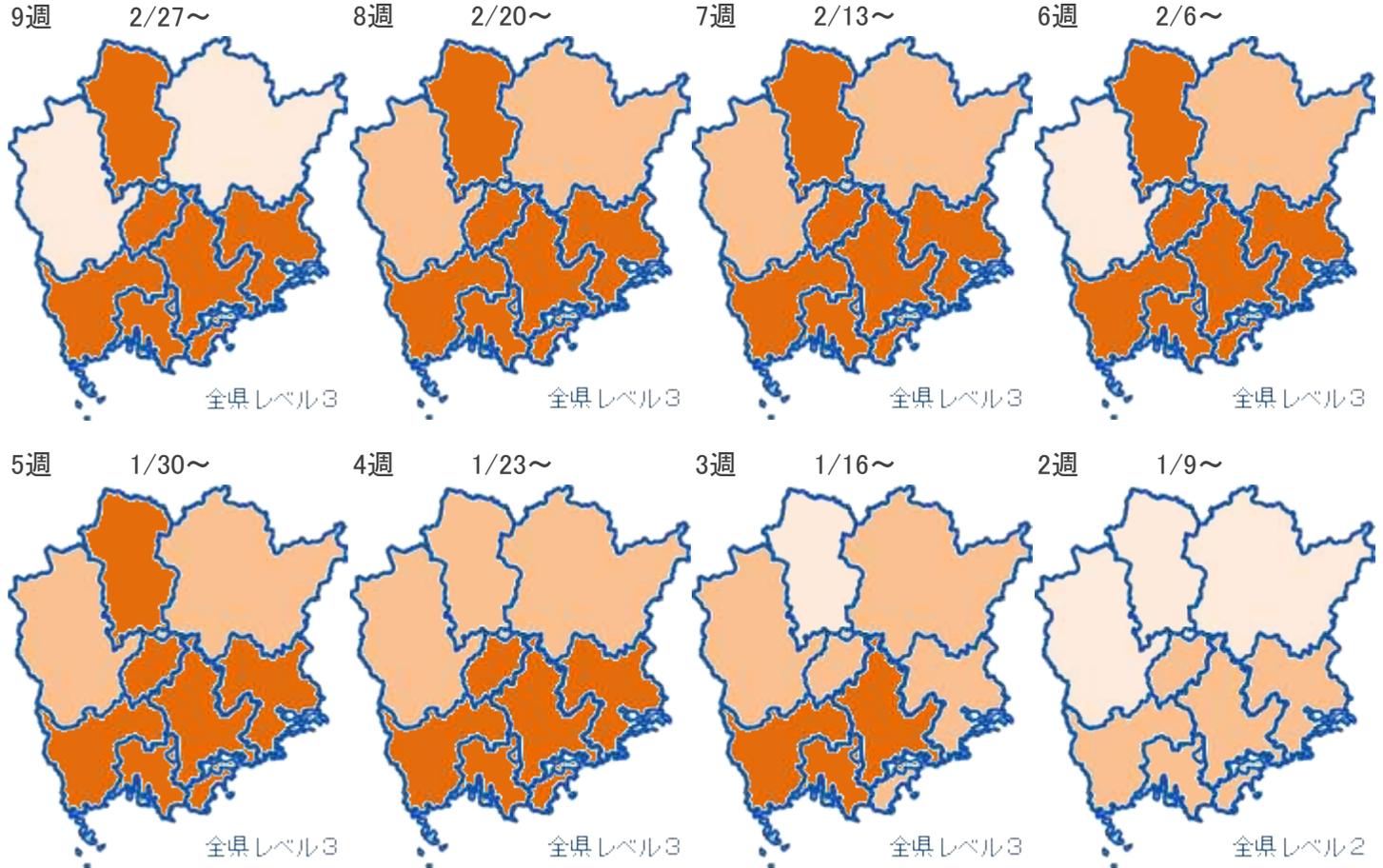




# 岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2012年 9週

2012年3月7日

9:36:24



## インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

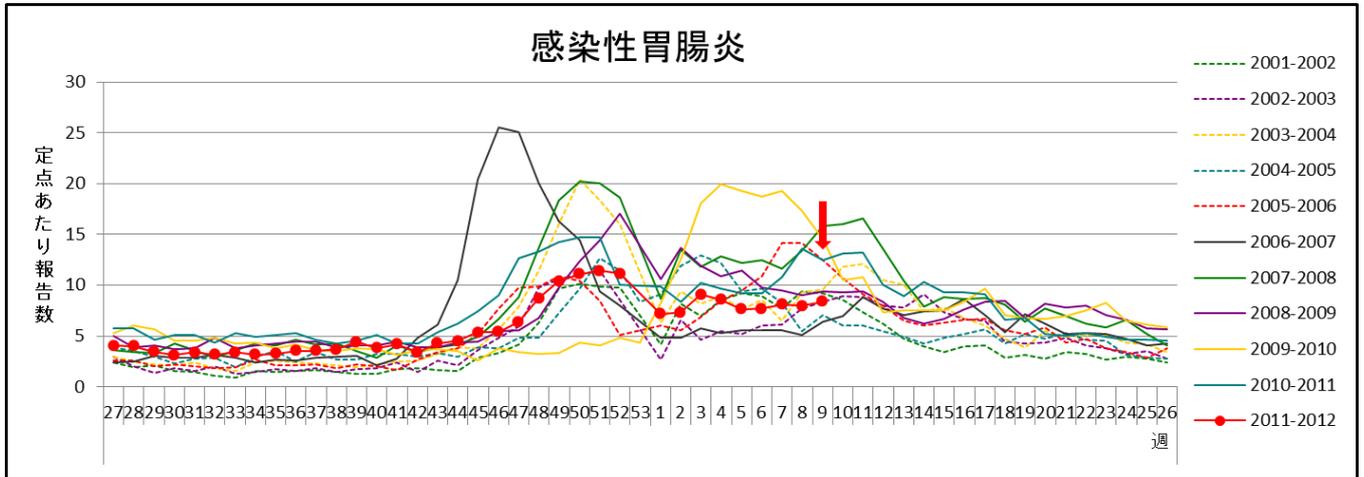
レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

# 感染性胃腸炎情報 第9週 2012年2月27日～3月4日

○岡山県内の患者報告数は 453 名（ 定点あたり 8.39 人 ）で、前週とほぼ同数でした。

## 【第 10 週 速報】

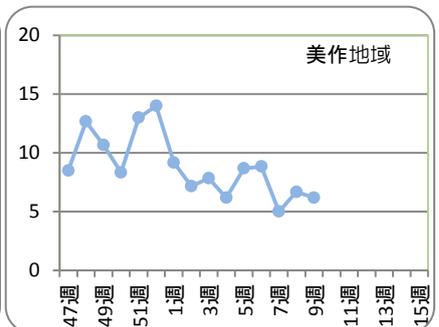
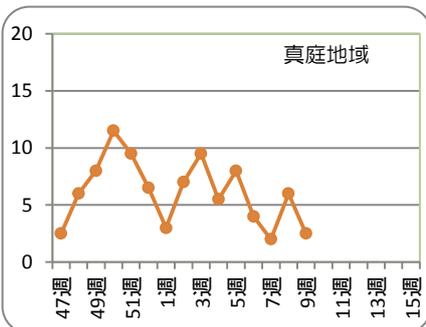
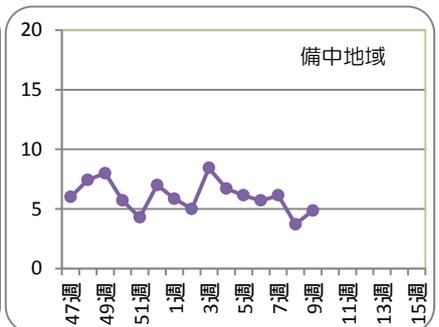
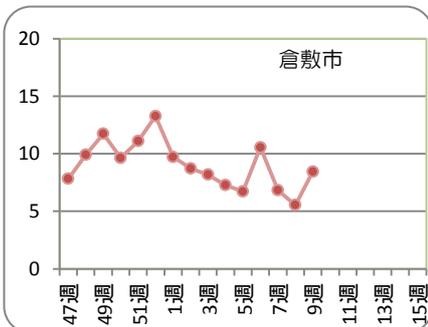
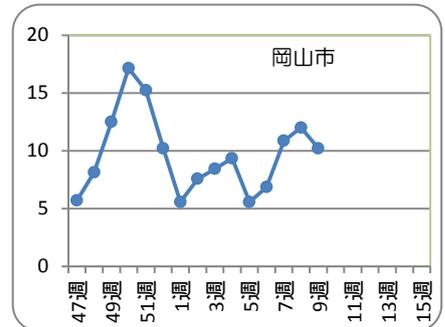
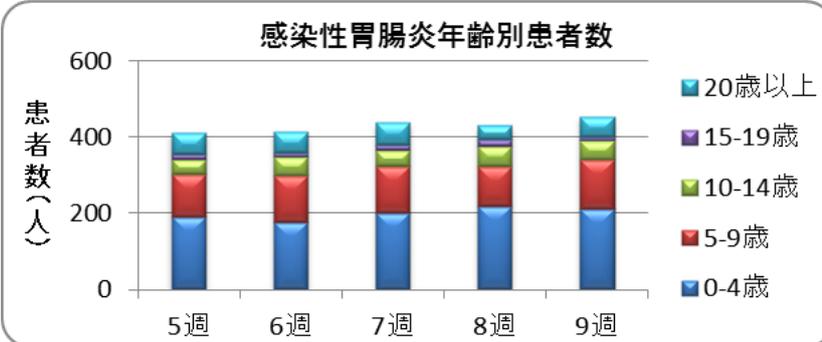
○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、岡山市の幼稚園と小学校の各 1 施設でありました。（ 3 月 8 日 ）



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（ 54 定点医療機関 定点あたり 7.98 → 8.39 人 ）。備北地域（ 11.50 人 ）や岡山市（ 10.21 人 ）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

例年、これから春にかけて、[ロタウイルスによる感染性胃腸炎](#)が増加します。ロタウイルスは 0～2 歳児に患者が多く、ノロウイルスよりも重症度が高いと言われています。手洗いを励行するなど感染予防に努めましょう。



保健所別報告患者数 2012年 9週 (2012/02/27~2012/03/04)

2012年3月7日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1431	17.04	354	16.09	449	28.06	324	21.60	144	12.00	48	8.00	62	20.67	50	5.00
RSウイルス感染症	8	0.15	3	0.21	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
咽頭結膜熱	5	0.09	4	0.29	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	0.74	7	0.50	19	1.73	-	-	3	0.43	1	0.25	3	1.50	7	1.17
感染性胃腸炎	453	8.39	143	10.21	93	8.45	95	9.50	34	4.86	46	11.50	5	2.50	37	6.17
水痘	65	1.20	22	1.57	17	1.55	2	0.20	21	3.00	-	-	1	0.50	2	0.33
手足口病	10	0.19	2	0.14	6	0.55	-	-	1	0.14	-	-	1	0.50	-	-
伝染性紅斑	9	0.17	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.00
突発性発疹	21	0.39	9	0.64	5	0.45	4	0.40	-	-	1	0.25	2	1.00	-	-
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	26	0.48	11	0.79	7	0.64	5	0.50	2	0.29	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	2	2.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 9週 (2012/02/27~2012/03/04)

2012年3月7日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	1431	17.04	354	16.09	449	28.06	324	21.60	144	12.00	48	8.00	62	20.67	50	5.00
咽頭結膜熱	5	0.09	4	0.29	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	0.74	7	0.50	19	1.73	-	-	3	0.43	1	0.25	3	1.50	7	1.17
感染性胃腸炎	453	8.39	143	10.21	93	8.45	95	9.50	34	4.86	46	11.50	5	2.50	37	6.17
水痘	65	1.20	22	1.57	17	1.55	2	0.20	21	3.00	-	-	1	0.50	2	0.33
手足口病	10	0.19	2	0.14	6	0.55	-	-	1	0.14	-	-	1	0.50	-	-
伝染性紅斑	9	0.17	1	0.07	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.00
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	26	0.48	11	0.79	7	0.64	5	0.50	2	0.29	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	0.08	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2012年 第9週 2012/02/27～2012/03/04 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	1431	1	17	53	56	79	94	118	109	122	105	76	216	42	64	114	64	32	34	19	16

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	8	2	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	5	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	-	-	1	5	5	4	8	3	4	3	3	4	-	-
感染性胃腸炎	453	4	27	70	43	35	32	36	35	17	18	23	51	8	54
水痘	65	2	1	9	14	13	12	5	4	3	-	2	-	-	-
手足口病	10	-	1	5	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-
伝染性紅斑	9	-	-	-	-	1	2	1	1	2	1	-	1	-	-
突発性発疹	21	-	9	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	26	-	-	2	3	2	5	6	2	3	2	1	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

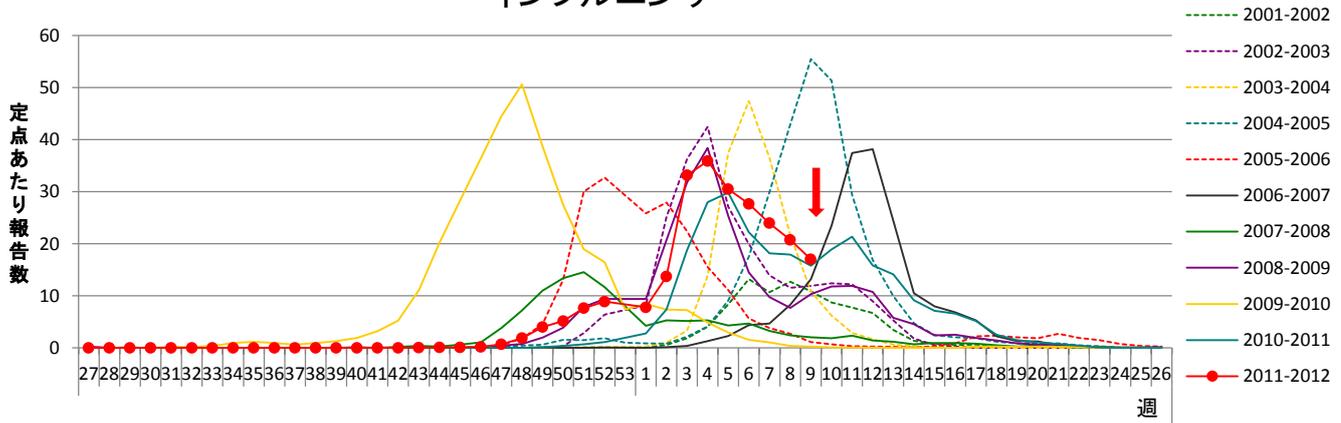
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

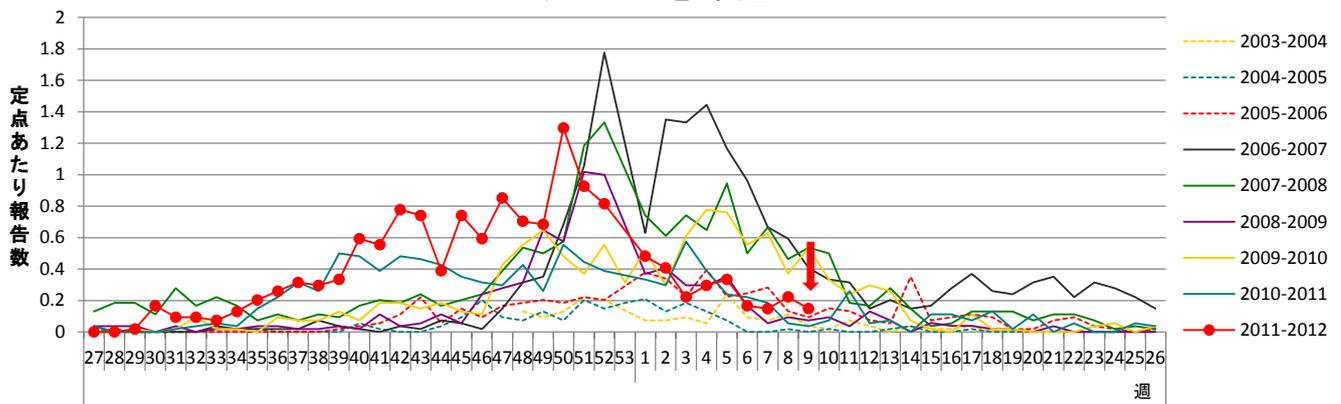
2012年 9週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	27	549	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	3	67
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	3	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	1	11	ウイルス性肝炎*3	-	1	9	急性脳炎*4	-	-	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	3	15	ジアルジア症	-	-	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	1	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	5	4		-	-	-		-	-	-

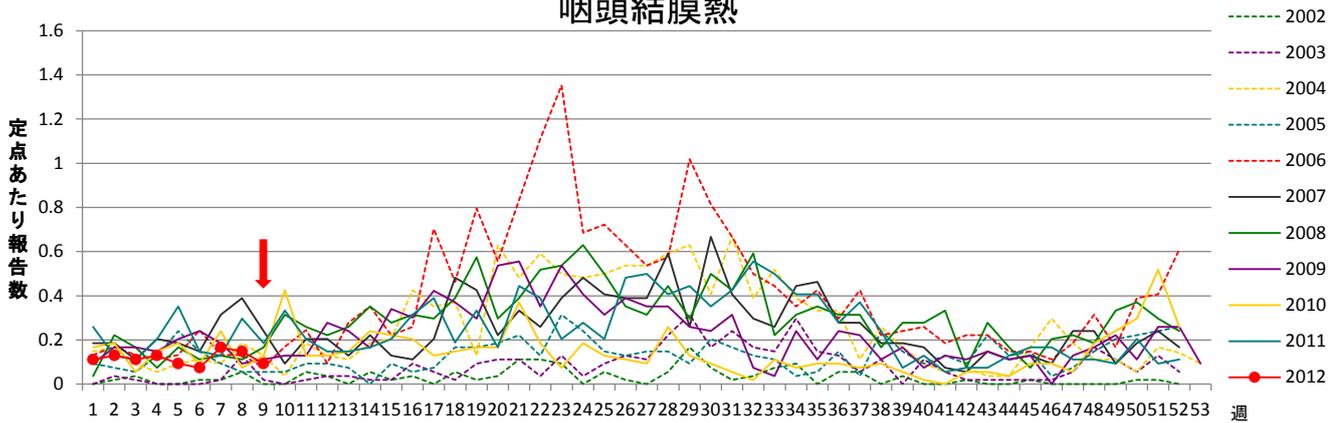
### インフルエンザ



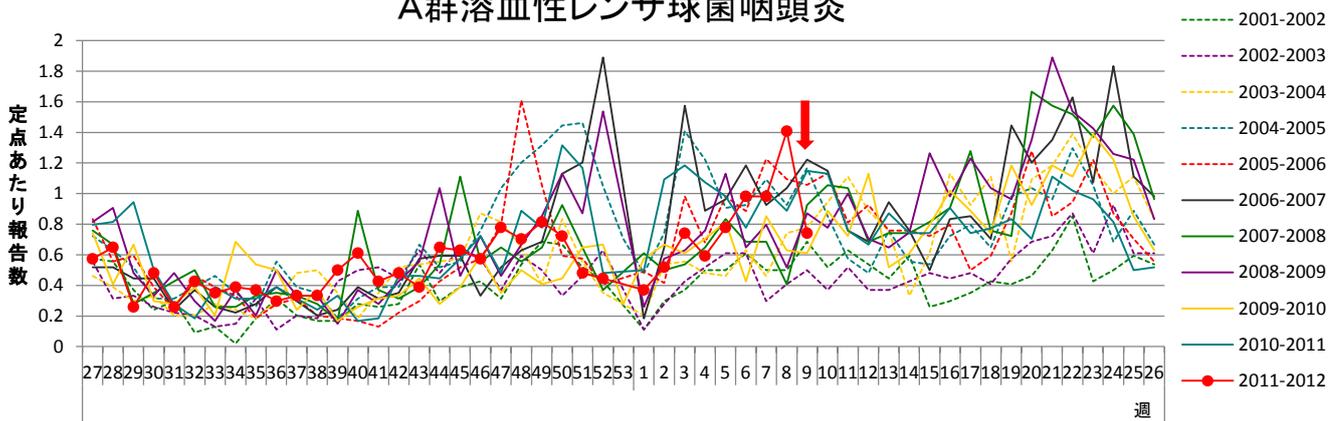
### RSウイルス感染症



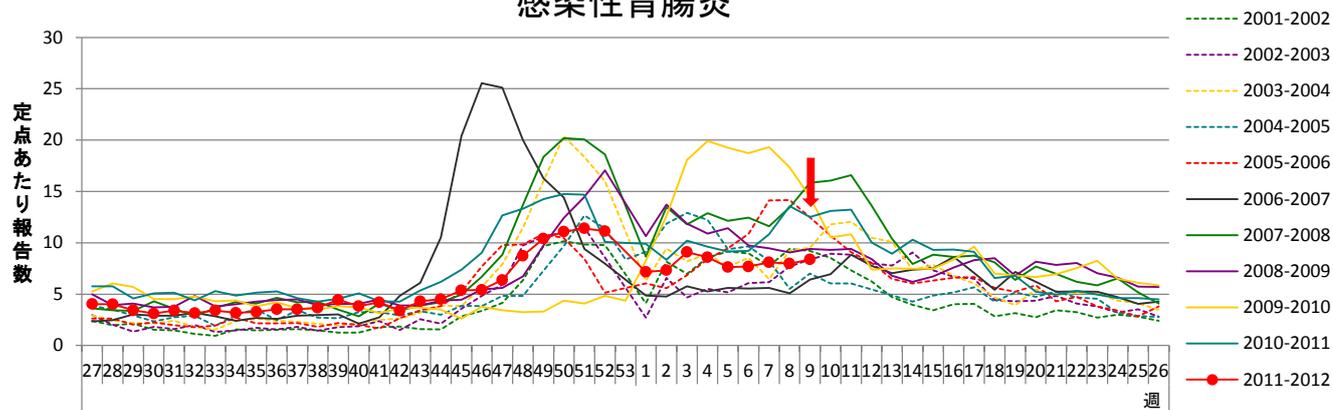
### 咽頭結膜熱



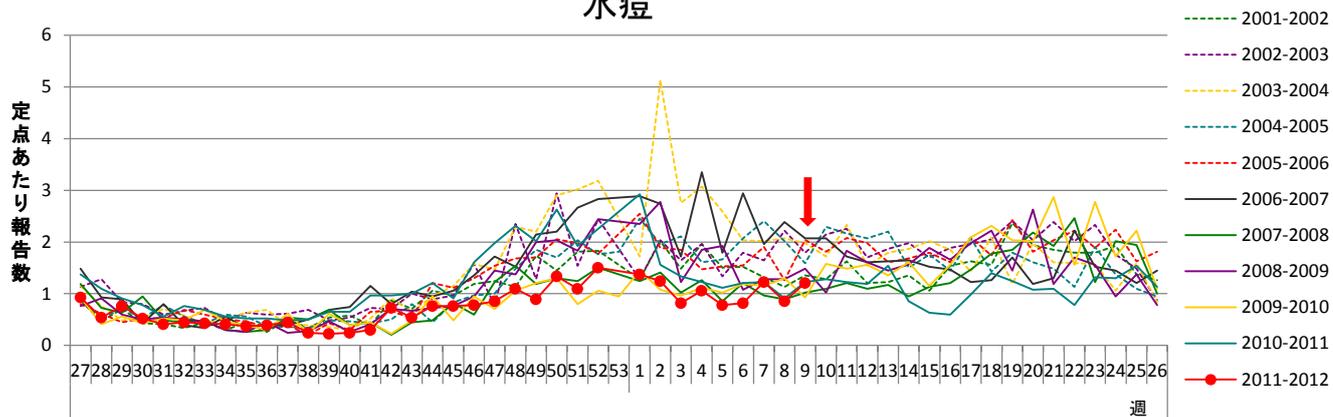
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



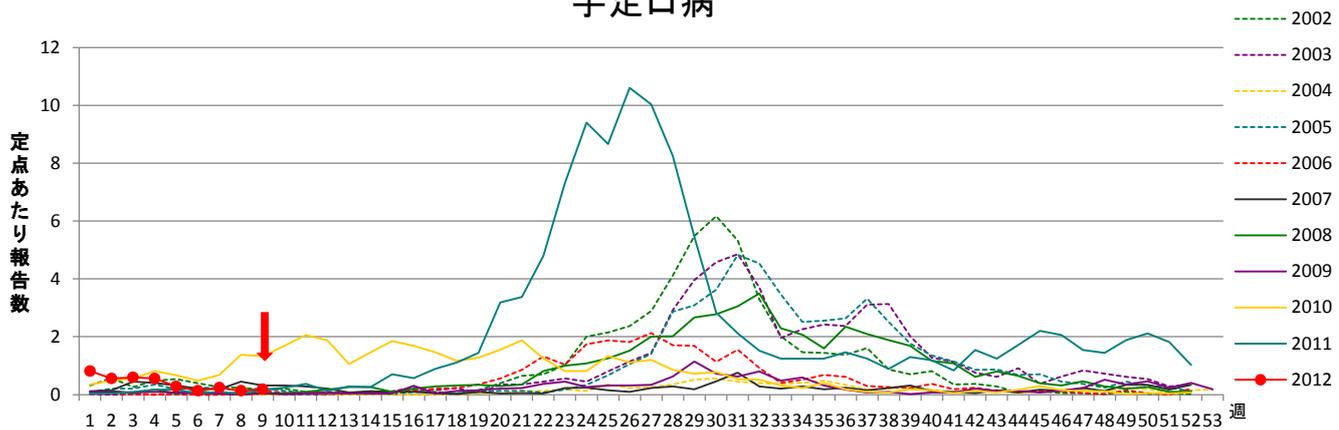
### 感染性胃腸炎



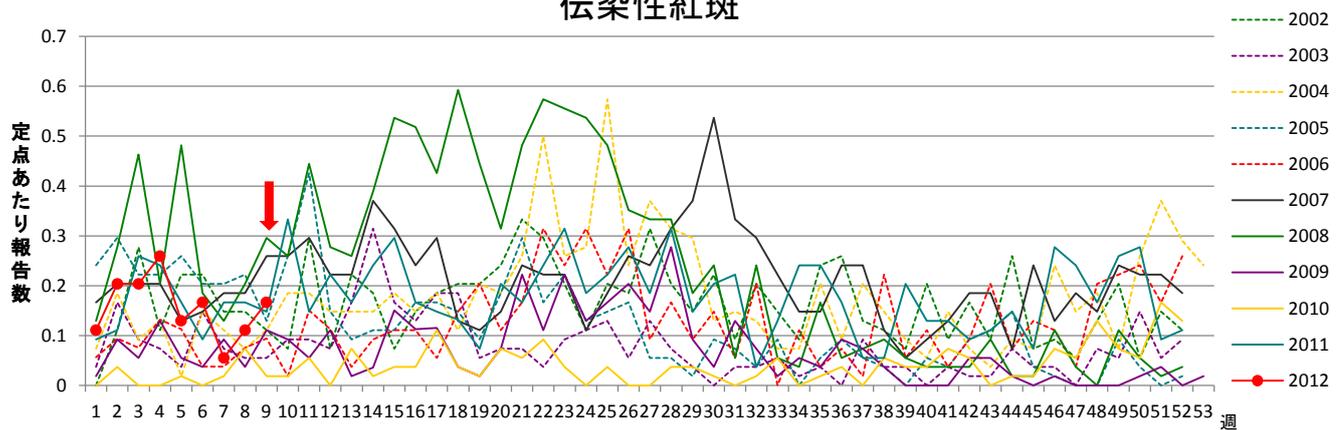
### 水痘



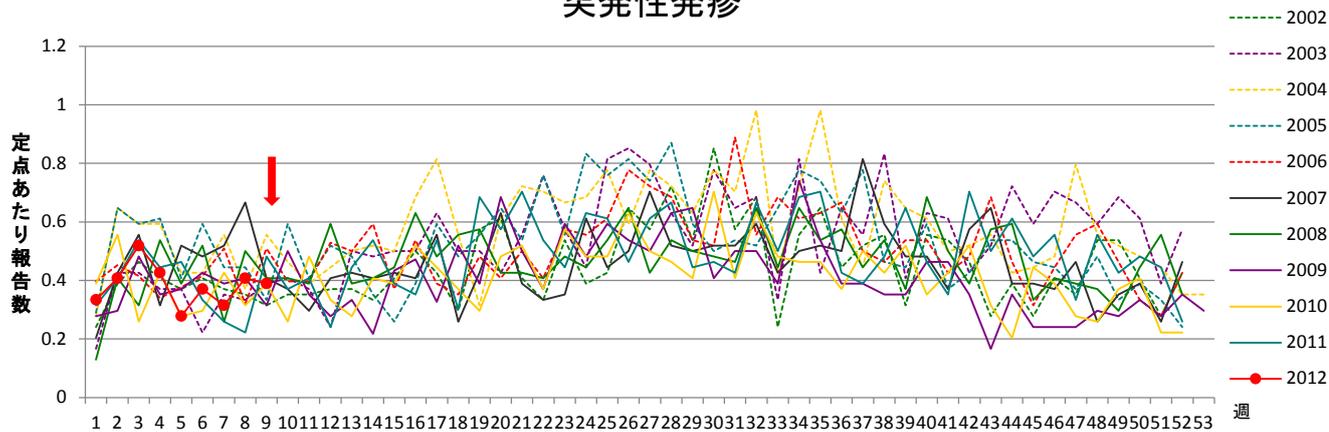
### 手足口病



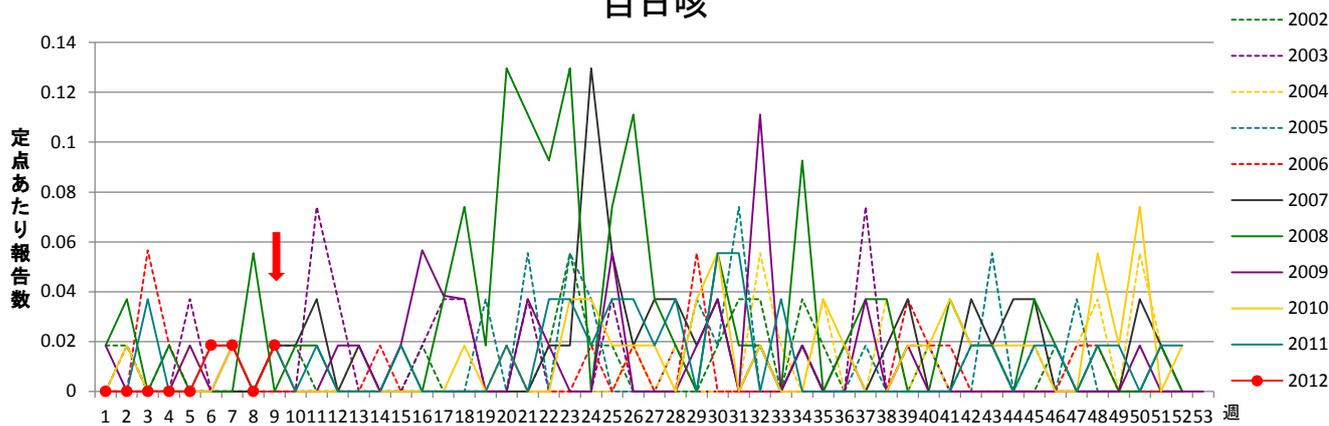
### 伝染性紅斑



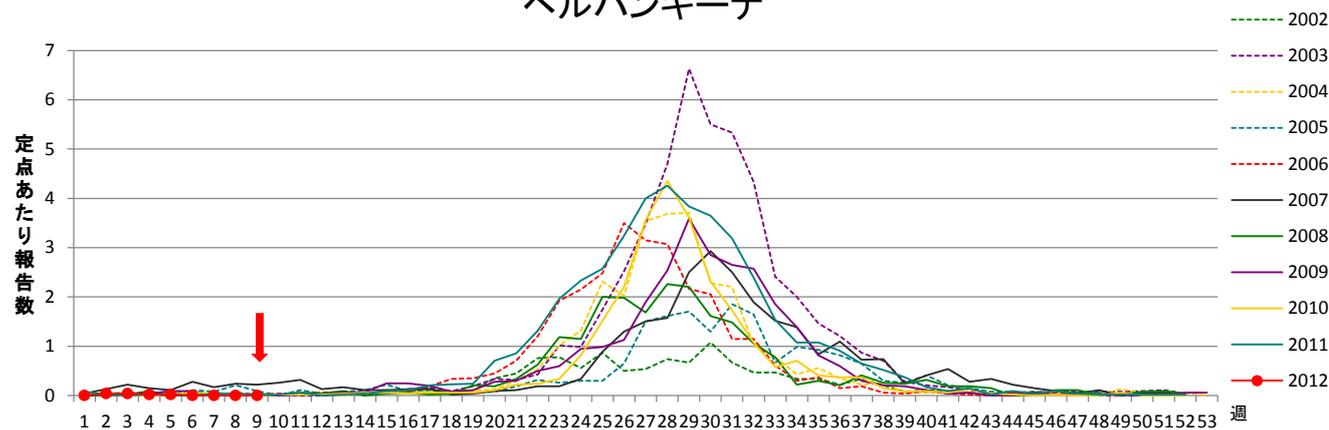
### 突発性発疹



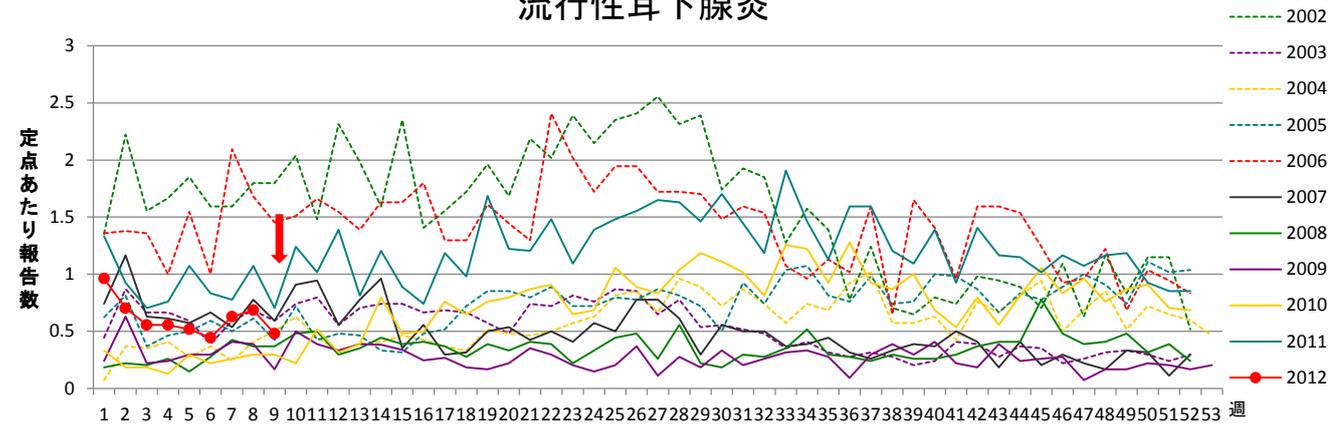
### 百日咳



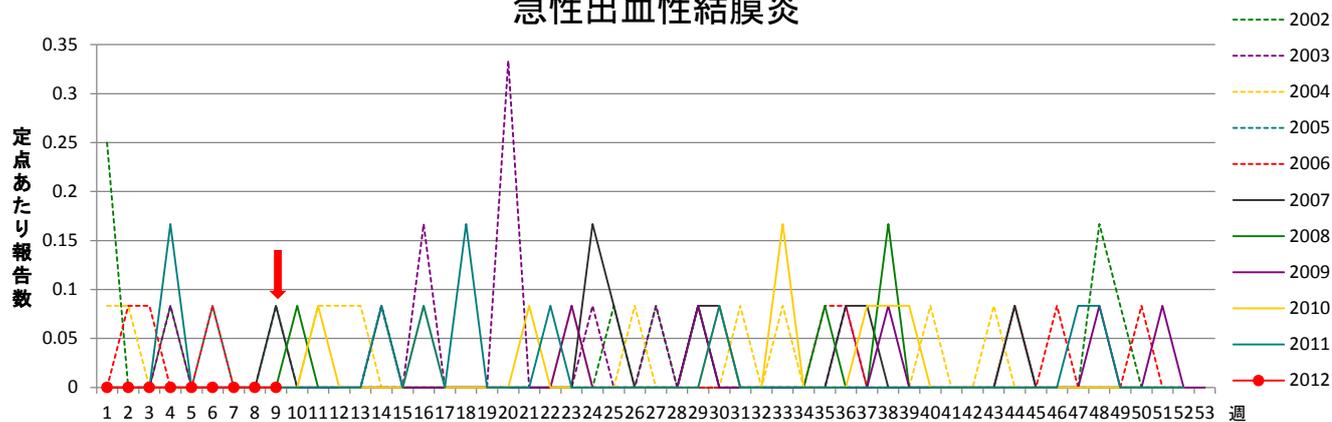
### ヘルパンギーナ



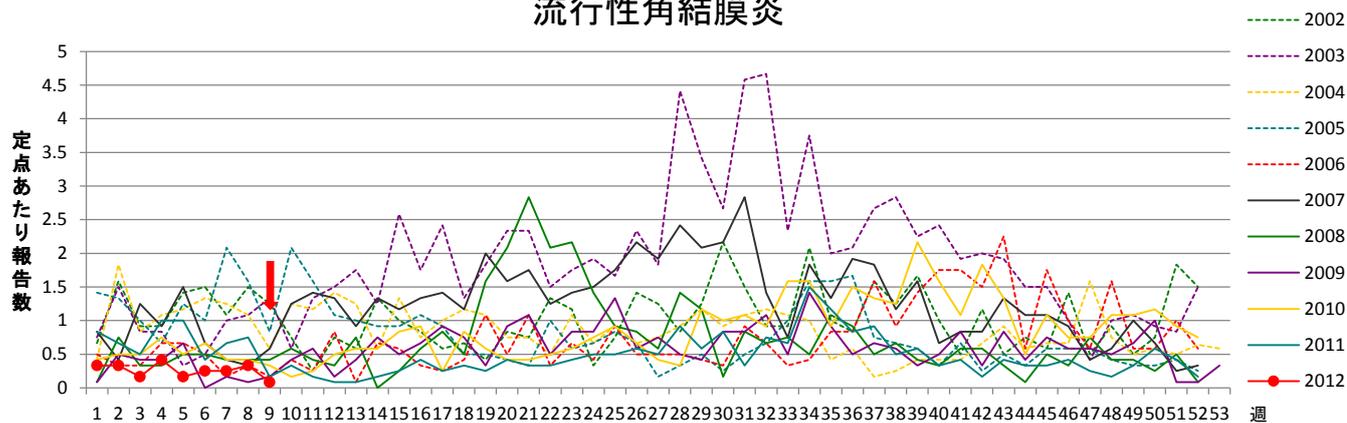
### 流行性耳下腺炎



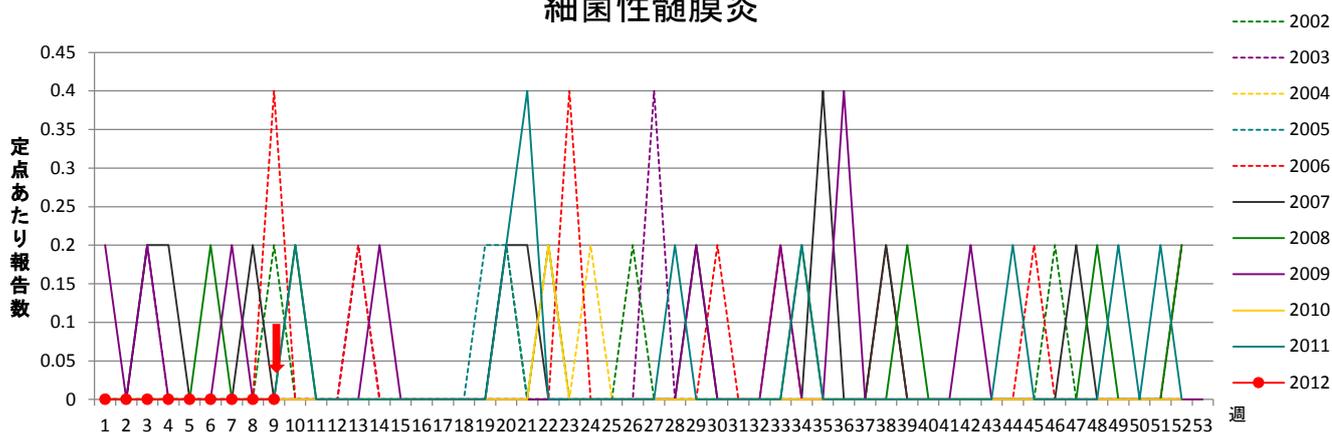
### 急性出血性結膜炎



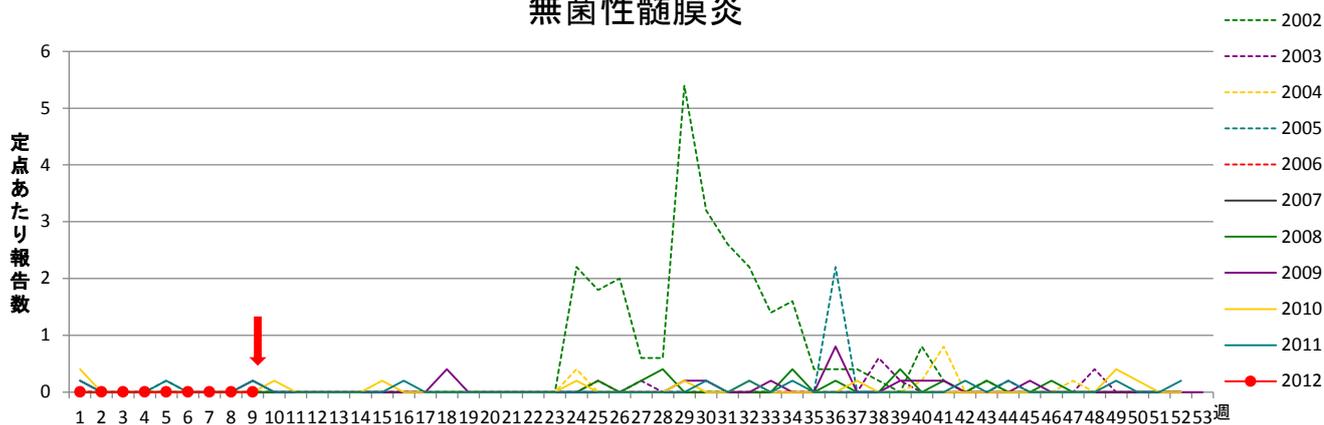
### 流行性角結膜炎



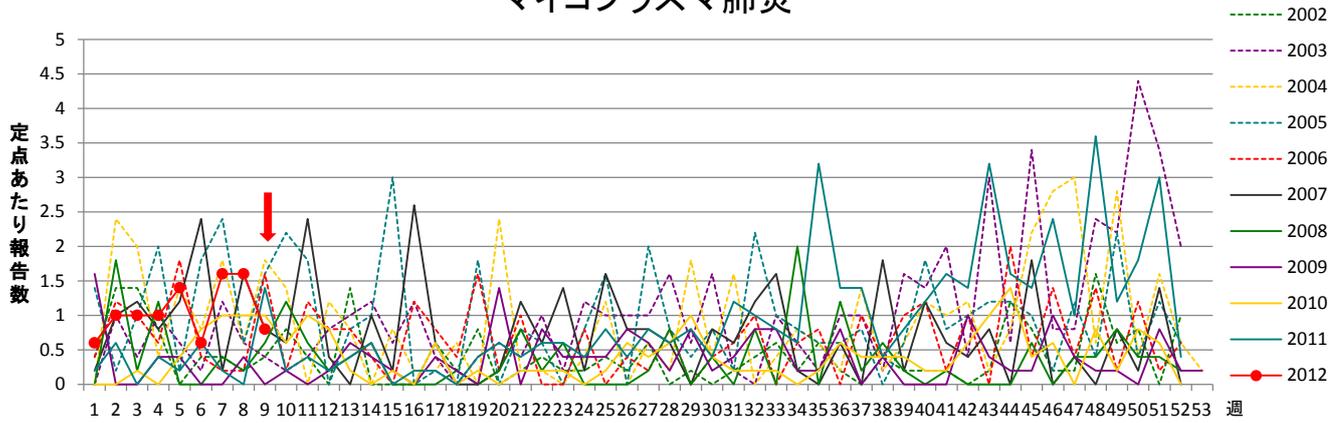
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

